

項目	アンケート結果から	改善策等
学校教育目標について	今年度「かしわー小けんめい! ~よく笑い ~よく遊び ~よく学ぶ」という学校教育目標に変えました。NO.1 については、保護者から97%の肯定的評価を得ました。また、NO.2 について、肯定的な評価を児童から84%、保護者からは97%の評価を得ました。	学校教育目標を変えたことで、目標を意識して取り組むことができ、その結果が表れていると思います。 NO.2 について、教職員の「そう思う」が児童や保護者と比較すると低くなっているところが気になります。教職員が率先して、楽しく過ごせる学級づくりや授業づくりに取り組んでいきます。
学習指導について	児童が主体的に学習に取り組む姿(No.3)について、教職員が94%。児童が86%の肯定的評価を得ました。児童の方が少し低い結果となりましたが、児童が自信を持って取り組めるように今後も指導してまいります。 一人一台端末の活用について(No.4)について、肯定的な回答が児童・教職員とも90%を超えており、授業の中で効果的な活用ができた結果と思われまます。 家庭学習について(NO.8)は、保護者は、70%の肯定的評価でしたが、児童・教職員は、91%の肯定的評価でした。大半の児童は宿題をやってきており、ご家庭での声掛けも大きいのではないかと思います。	No.6体験学習について、コロナウイルス感染症対策を講じながらの取り組みですが、今年度は、宿泊を伴った修学旅行や林間学校、全学年とも校外学習を実施することができました。コロナウイルス感染症対策は続きますが、できる活動を増やしながら取り組んでいきたいと思ひます。 NO.7心の教育の一環として今年度実施している「道徳の交換授業」について、周知が足りなかったと反省しております。交換授業をすることにより、担任の授業だけでなく、多くの教員から指導を受けることにより、児童の良さの発見につながり、児童の自己肯定感を伸ばすことが期待されますので、今後も続けていきます。
生徒指導について	No.9 児童理解について、3者とも高い肯定的評価を得ましたが、児童の12%が「思わない・あまり思わない」と回答していることから、教員のさらなる児童理解が必要と考えます。児童に寄り添った指導を心がけていきたいと思ひます。	No.10 思いやりのある言動については、「思わない」と回答している児童が10%今後も心の教育に力を入れて取り組んでいきます。 No.11 あいさつについて、課題のある結果となりました。校内だけでなく、進んであいさつができるように、教職員も進んであいさつに取り組んでいきます。
健康・安全指導について	NO.13 感染症対策について、高い肯定的評価を得ました。引き続き、子ども多胎の安全を第一に考えた対応をして	No.15 基本的な生活習慣について、特に朝食については、大半の児童が食べてから登校しています。児童が元気

	まいます。学校行事をただ単に中止にするのではなく、感染症対策を講じた上で最善の方策を考えて実施してまいます。	に学校で学習や活動するためには、朝食の摂取が欠かせません。学校からも情報を発信していくとともに、保護者の方のご協力もお願いします。
信頼される学校づくりについて	NO.16 の教職員の一体感について、保護者・教職員ともに94%の肯定的評価を得ましたので、今後も共通理解を図りながら、取り組んでいきます。 NO.17 情報提供について、保護者から94%の高い評価を得ましたので、引き続き積極的な情報発信に努めます。	今後も児童が、よりよく生きるための基盤となる道徳教育に一層力を入れて指導していきます。さらに、個に応じた指導を充実させ、確かな学力を身につけさせるために、授業改善に努めていきます。

<教育活動アンケートに寄せられたご意見について>

【学校施設について】
○トイレ・更衣室について 柏市教育委員会にトイレの増加をお願いしておりますが、建物の構造上難しいとの回答です。現在の状況から、使用トイレを学年ごとに指定しています。子どもたちには、早目早目に声をかけていきます。 男子更衣室については、普通教室を決定後、配置を検討していきます。
【安全面について】
○下校時正門前の見守りについては、PTA 本部とも相談をし、対応を講じてまいます。 ○高島屋下の受動喫煙問題について 柏市や PTA 本部とも連携をして取り組んではおりますが、改善が見られず申し訳ございません PTA 本部から柏市に現地の受動喫煙問題の改善について要望書を提出していますが、改善に向け、今後も行政と連携を持って取り組んでいきます。
【一人一台端末の活用について】
○連絡帳の取り扱いについて 各学年で、連絡帳を PC でお知らせしておりますが、希望される方には、従来の紙の連絡帳に書くことも可能です。担任にお申し出ください。なお、PC に連絡帳の内容を児童が帰宅する時間に合わせて UP できるように教員には指導してまいます。
【教職員について】
○教職員の対応についても様々なご意見をいただきました。どのご意見も真摯に受け止め、児童への指導に生かしていきたいと思えます。特に、教職員によって対応が違うとのご意見は、我々の不徳といたすところです。教職員の児童理解を一層深めるとともに、共通理解を行い、同一步調で児童の指導に当たるように努めてまいます。今後も、全ての教職員が児童理解や学習指導の研修を重ね、誤解や行き違いによって信頼関係を損ねないようにしていきます。 ○教育相談の窓口について お子様のことで相談がある場合は、担任だけでなく、学年主任にもご相談いただけます。また、教頭・養護教諭(吉原)・白井教諭は、教育相談の担当者となっておりますので、いつでもお気軽にご相談いただきたく存じます。

<p>【部活動の取り組みについて】</p> <p>○市内陸上大会・市内小中学校音楽発表会について</p> <p>既にお知らせしてある通り、令和 6 年度から市内陸上大会と市内小中学校音楽発表会は、廃止されます。令和 5 年度については、任意ということなので、本校としては参加する方向でおります。したがって、令和 5 年度については、今年度と同様の活動を考えています。また、令和 6 年度以降の部活動の取り組みについては、検討中ですので、決まり次第お知らせいたします。</p>
--

<学校運営協議会委員からのご意見>

<p>【ICT の活用・一人一台端末の活用】</p> <p>○オンライン授業での対面とオンラインのハイブリット進行の難しい部分があると思う。相互コミュニケーションを増やし、質の向上を求める保護者の声があるが、難しい面もあるということ</p> <p>を保護者に周知していく必要がある。</p> <p>○不登校傾向や事情のある児童について、オンライン授業は有意義なものである。子どもたちのオンラインへのとらえ方、認識は大人と違うので、大人の先入観を持たずに、どのような活用をしていけるのか、体験的な活動とのバランスを含め、模索していく必要がある。</p> <p>○人とのかわりを中心に、ICT との両方のよさを生かしていくことが大切。</p>
<p>【道徳の交換授業について】</p> <p>○全教職員で子どもたちを多面的にみていく必要性から、今年度、道徳で学年間での交換授業を始めた。回数や実施形態等、学年の実態によって変わることがあるが、明確に示していなかったため、保護者からの理解も低かった。来年度は、保護者にも周知をさらに推進していきたい。</p> <p>○交換授業は、担任間での情報が共有されることが必要で価値がある。多くの教師に関わってもらうことは、子どもたちにとってよいことである。</p>
<p>【下校時の安全について】</p> <p>○正門前のポール</p> <p>○学校、保護者、学校運営協議会・地域と安全見守りの方法について連携していくことが必要。</p> <p>○放課後、キックボードで道路を走り回る児童を見かけ危険だった。</p>